



## 魔法のごとく油を吸着 ナノファイバーで革新を

株式会社アブラカダブラ・ジャパン

代表取締役 野牛泰治

**春香クリスティーン（以下、クリス）** 株式会社アブラカダブラ・ジャパンさんにお邪魔しています。耳馴染みが良く、覚えやすい社名ですね。そして、目の前にある商品にさっそく心を掴まれています。野牛社長、まずは商品の説明をお願いしますか？

**野牛** 「油カダブラ」ですね（笑）。大手激安ディスカウントストアでもお取り扱いいただいているので、ご覧になられたことがあるかもしれません。ナノファイバーを使用した、ご家庭用の油吸着剤です。

**クリス** ナノファイバーですか。マイクロファイバーはよく聞くものの、どういったものなのでしょう？



インタビューー 春香クリスティーン(タレント)

**野牛** マイクロの1000分の1がナノになるわけですが、弊社では、500～800ナノメートルの細さのナノファイバーを使用しています。わかりやすくいえば、髪の毛の200分の1のサイズです。軽くふわふわとしているものの、自然災害などで油の流出事故が起きたとき、流れ出た油をすぐに吸着・除去できるなど、災害時にも役立つ優れたものでして。ほかにも、撥水性や捕集力が高く、保温や保湿、断熱、吸音、集塵、除菌性も兼ね備えた、まさにこれからさまざまな場面で活用されていく素材だと思っています。

**クリス** 汎用性の高さに驚きです！ そんなにすごい素材でつくられているということは、この「油カダブラ」の効能にも期待できますね。



油カダブラの効果をぜひご覧ください！

**野牛** 「油カダブラ」は、シート1枚で油だけを700mlほど吸い上げるんです。しかも、水は一切吸わない仕組みになっています。

**クリス** まさに魔法のようです！ 一体どのような仕組みになっているのですか？

**野牛** ナノファイバーの素材に使われているポリプロピレン（PP）分子は水分子より小さく、油分子より大きいんです。そのため、引力の作用で油分子だけを引き付け、他方水分子を引っ張りません。この原理を利用すれば、油だけを吸着できるというわけです。油は、河川に流れると環境破壊を起こしてしまいますよね。大きさ1杯の油を海に流してしまうと、それを魚が住める環境に戻すには、バスタブ6杯分の真水で薄めることが必要になってしまうんですよ。

## 魔法のごとく油を吸着 ナノファイバーで革新を

**クリス** バスタブ6杯分も！ そんなに大量の水が必要とは知りませんでした。環境のことを考えると、油は流さないほうが絶対に良いですね。

**野牛** そうです！ そして、それは揚げ油だけでなく、お皿に残った少量の油についても同じことです。油をしっかり吸着できれば、食器洗いも圧倒的に楽になりますし、洗剤の使用量も激減します。「油カダブラ」は細かくちぎっても使えるので、ぜひ手に取って試してみてください。



**クリス** わあ、まるで雲のようにふわっとしていて不思議な感覚です。少しだけちぎって油を拭き取れるということは、油の量に応じて無駄なく使うことができますね。拭き取った後はゴミ箱に捨てるだけだから、片付けも簡単で、環境にもとても優しいですよ。

**野牛** ひと手間増えることにはなりますが「油カダブラ」で油だけ拭い、そのままゴミ箱へ、という習慣を確立できれば、油が環境に及ぼす影響をかなり抑えられるはずですよ。洗剤や水の量を減らすことにもなりますし、環境に優しいライフスタイルとコストダウン、良いこと尽くめだと思うんですね。

**クリス** その新習慣、私も大いに賛成です！ ですが、まだ「油カダブラ」の良さを知らない方は多いと思います。こんなにお手軽で、素晴らしいものなのに…。



**野牛** そこが、これからの課題です。まずは多くの方にナノファイバーの魅力を知っていただきたいですね。ありがたいことに、少しずつですがリピーターも確実に増えてきています。お客様の喜ぶ顔を想像しながら、生産規模を拡大し、より良い商品開発をしていきたいと思っています。「油カダブラ」がいろんなご家庭に浸透して、たくさんの人が気軽にSDGsに取り組んでいく。その一歩になったら嬉しいですね。

**クリス** 今日実物を手にしながら、お話をうかがいました。ナノファイバーという小さな存在が、環境問題の改善・解決につながるというのは大きな発見でした。野牛社長の情熱がたくさん注がれている「油カダブラ」や、今後も開発されていくナノファイバー製品は、間違いなく私たちの生活や地球環境にメリットをもたらしてくれるはずです。アブラ

カダブラ・ジャパンさんの今後のますますのご活躍を、これからも応援しています！